

2%お試し企画を注文された方は、この資料を必ず保存してください

生命を育む水

保存版

# BMW生物活性水

生活クラブ生協大阪  
環境委員会

自然の持つリサイクルの力で、私たちの暮らしが本来の姿をとりもどします。  
少しずつでも、家庭内から、化学物質を減らしていきましょう。

## BMW生物活性水とは・・・

BMW生物活性水は「B」はバクテリア、「M」はミネラル、「W」はウォーターの頭文字からとって名付けられました。

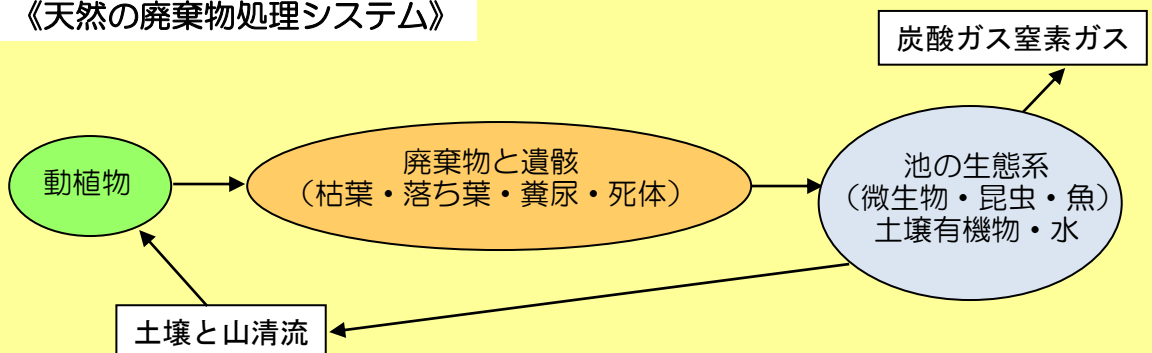
自然の営みの中では、すべての生き物は死んで土に戻ります。山や森林では昆虫や動物は食物を食べ、排泄し、そして死んでいきますが、それらの排泄物や死んだ個体は有機物です。これらはバクテリアが土と水という無機物に分解します。川や池に散った落ち葉も、水を腐らせることなく、土になっていきます。それはみな自然の浄化作用、バクテリアの働きによるものです。

このバクテリア（B）を活性化させるために欠かせないのが、豊富なミネラル（M）とよい水（W）。

自然界では降った雨が岩にしみこみ、土壌腐食の層をくぐり、ミネラルや土壌腐食などを溶かし込み、湧き水として地上に出てきます。これが天然の生き物によい水です。

この自然界の浄化システムをモデルにして、バクテリアの力を最大限に発揮させ、自然界と同様の循環を行う—これが**BMW技術**です。

### 《天然の廃棄物処理システム》



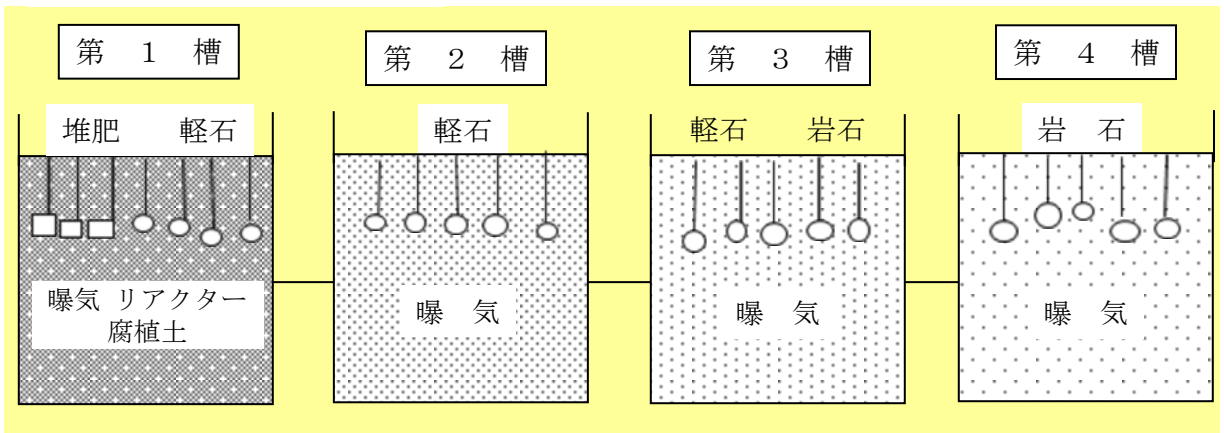
## BMW生物活性水ができるまで・・・

生物活性水は、森の湧き水のような水と、岩石由来のミネラル成分、腐葉土のもとになる土のエッセンス（＝腐植）からできています。薬品類は一切使用していません。

作り方は、健康に育った家畜の糞尿を完熟発酵させて、森の腐葉土のようなコンポスト（堆肥）を作ります。このコンポストを水に溶かし出し、花崗岩や軽石などの自然石（岩石）と、腐植土（状態が安定した最良の腐葉土）を入れ、そこに空気を送りこんで酸素を与えながら、微生物による精製を行っていきます。最終段階では、臭いも全くない褐色の生物活性水になります。

生物活性水自体にはバクテリアが存在しないよう、設計されて作られています。

### 《活性水タンクの様式図》



- 1槽** 腐植土を固めたもの（バランスの良い微生物、ミネラル群/森林土壌）  
堆肥（微生物および微生物の餌＝有機物）  
軽石（火成岩＝微生物のすみか）  
花崗岩（ミネラル）

\*曝気により醗酵の回路に向かう微生物を増やし、腐敗の回路に向かう微生物を減らします。  
\*微生物密度は一槽では1mlあたり数億になることもありますが、その後次第に減少し最終槽では数百から数万程度になります。

- 2～4槽** 堆肥（有機物＝餌）が微生物によって分解されるため、2～4槽に向かう中で有機物（餌）が少なくなり、微生物は減っていきませんが、代謝産物を出していきます。  
また岩石からミネラルが溶出し、おそらく20種類以上のミネラル（ナトリウム、カルシウム、マグネシウム等々）が含まれていると考えられます。

- 最終槽** 最終槽の生物活性水には、有用微生物も残っていますが、微生物そのものが有効に働くというより、プラントで生育した各種微生物のさまざまな代謝産物とミネラルが働いていると考えられます。